

「品質保証に係る顧問会」(第4回)議事録(要旨)

1. 日 時 : 平成17年4月22日(金) 13:30 ~ 16:30

2. 場 所 : 日本原燃(株) 東京事務所(物産ビル別館6階) 第一会議室

3. 出席者

(1) 顧 問

(主 査) : 高橋 八戸工業大学長

(委 員) : 猪原 大阪電気通信大学教授

小林 (株)日本航空インターナショナル総合安全推進室副室長

新堀 東北大学助教授

宮村 中央大学教授

(五十音順)

(2) 日本原燃

(同席者) : 兒島社長, 平田副社長,
峰松再処理事業部長, 大和濃縮事業部長, 木村埋設事業部長,
磯部品質保証室担任・安全技術室担任, 松尾経営企画室担任,
米田燃料製造部担任, 朝日再処理事業部品質管理部長,
青柳再処理事業部再処理工場技術部長,
齋川品質保証室長, 尾川品質保証室副室長,
新沢品質保証室品質保証部長

(事務局) : 中村品質保証室副部長

4. 議事要旨

(1) 開会挨拶・出席者紹介

日本原燃より, 開会挨拶と出席者の紹介を行った。

(2) 社長挨拶

兒島社長より, 顧問会の開催にあたり, 現在の日本原燃の置かれている状況の説明を含め挨拶を行った。

(3) 第3回顧問会の議事録確認他

日本原燃より, 第3回顧問会での評価・アドバイスに対する対応方針について説明を行った。

(4) 品質保証活動の実績

日本原燃より, 前回顧問会以降の約5ヶ月間に日本原燃が実施した主な品質保証活動の実績について説明を行った。

- (5)平成17年度「品質方針」の策定
日本原燃より、平成17年度「品質方針」の策定について説明を行った。
- (6)協力会社との信頼関係の構築について
日本原燃より、協力会社との信頼関係の構築について説明を行った。
- (7)ウラン試験の実施状況
日本原燃より、ウラン試験の実施状況について説明を行った。
- (8)再処理施設における不適合管理の状況
日本原燃より、再処理施設における不適合管理の状況について説明を行った。
- (9)次回の予定
次回は11月11日又は12月2日に開催することを確認した(場所は東京)。

5. 主なアドバイス他

協力会社との信頼関係の構築について

知識、経験の量が違うことによって、協力会社のカルチャー、経験、設計思想は異なる。コミュニケーションは会議体の活用のみでは、うまくいかない。コミュニケーションの目的は情報の共有化ではなく、共用化である。共用とは互いが理解し、納得することである。

「コミュニケーション」という言葉の定義は何か。どういうコミュニケーションが悪かったのかを解析する必要がある。

ボーリング時のトラブルの他社への水平展開のやり方について、情報伝達の特徴は、言葉のみでは不十分であり、現場に一緒に行くなどして、ビジュアルに目で見て確認させることも必要である。

日常業務におけるコミュニケーションとは、何でも気軽に言える雰囲気を作らなければならない。そのためには、運動会、スポーツ大会など泥臭いイベントを行い、人間関係を構築することも効果的である。

以上